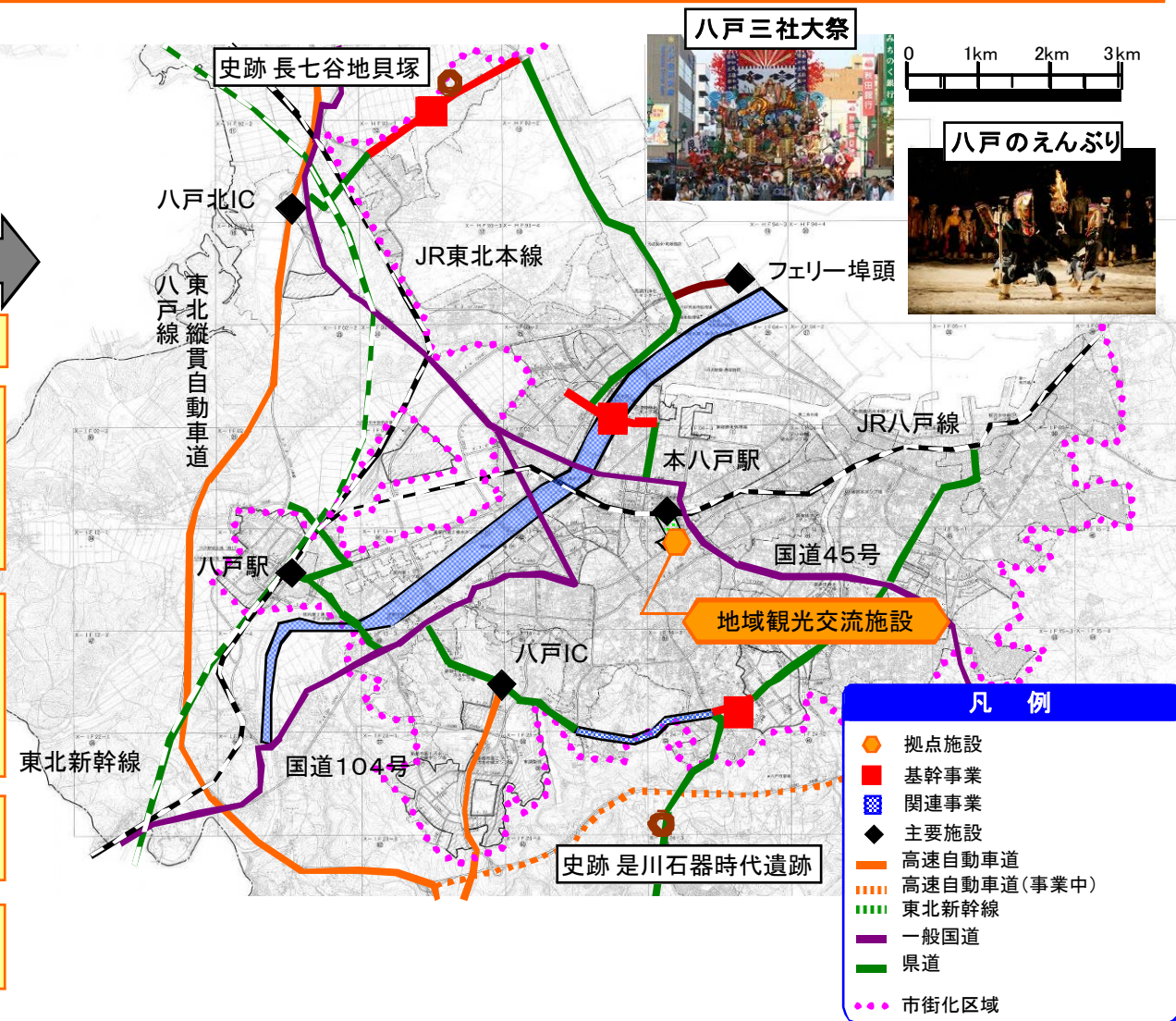
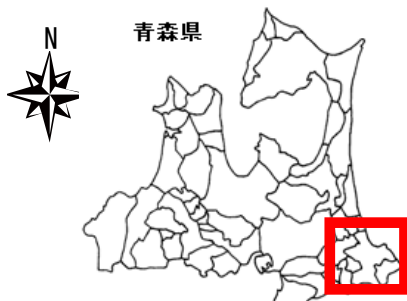


### 計画のポイント

・八戸地域において、国指定の重要無形民俗文化財である文化的資源の展示・伝統芸能の公演を活かし、中心市街地の観光拠点への広域来訪者の増加を図る。そのために必要な八戸市中心市街地へのアクセスを改善するための道路整備を行う。



計画期間 平成20年度～平成24年度

#### 1. 計画の目標

中心市街地での渋滞解消と中心市街地へのアクセス向上により、中心市街地の観光拠点への広域からの来訪者を増加させ、観光を活性化し地域社会の自立的な発展を目指す。

#### 2. 目標を定量化する主な指標

年間宿泊客数(万人):  
56(H18年度) → 58(H24年度)  
街なか交流人口(人):  
4,200(H18年度) → 4,300(H24年度)

#### 3. 主な事業

道路

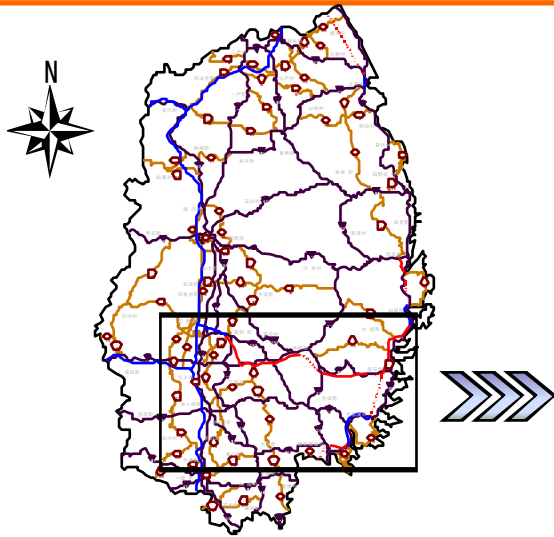
#### 4. その他

都市再生整備計画(八戸市)との連携

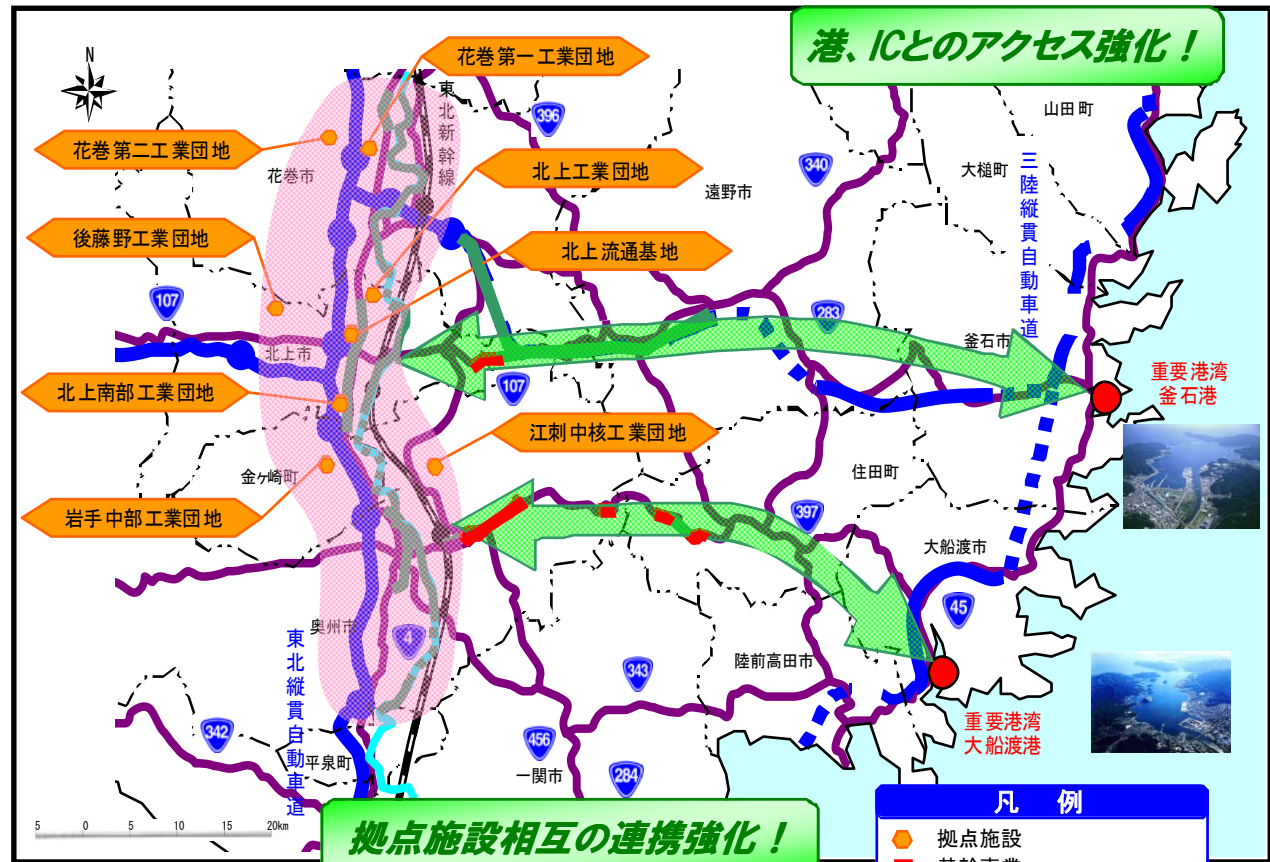
凡例	
●	拠点施設
■	基幹事業
■	関連事業
◆	主要施設
—	高速自動車道
—	高速自動車道(事業中)
—	東北新幹線
—	一般国道
—	県道
...	市街化区域

### 計画のポイント

- ・北上川流域地域において自動車関連産業を中心とした先端技術産業の集積を目的として、企業立地促進法基本計画（経済産大臣同意）に集積区域を定めた。
- ・集積区域と重要港湾である釜石港、大船渡港の連携を確保するため、アクセス道路を集中的に整備する。



### 生産基盤の強化と更なる企業の集積！



港、ICとのアクセス強化！

拠点施設相互の連携強化！

計画期間 平成20年度～平成24年度

**1. 計画の目標**  
 内陸生産拠点エリア（北上川流域地域）の生産基盤の強化及び更なる企業の集積

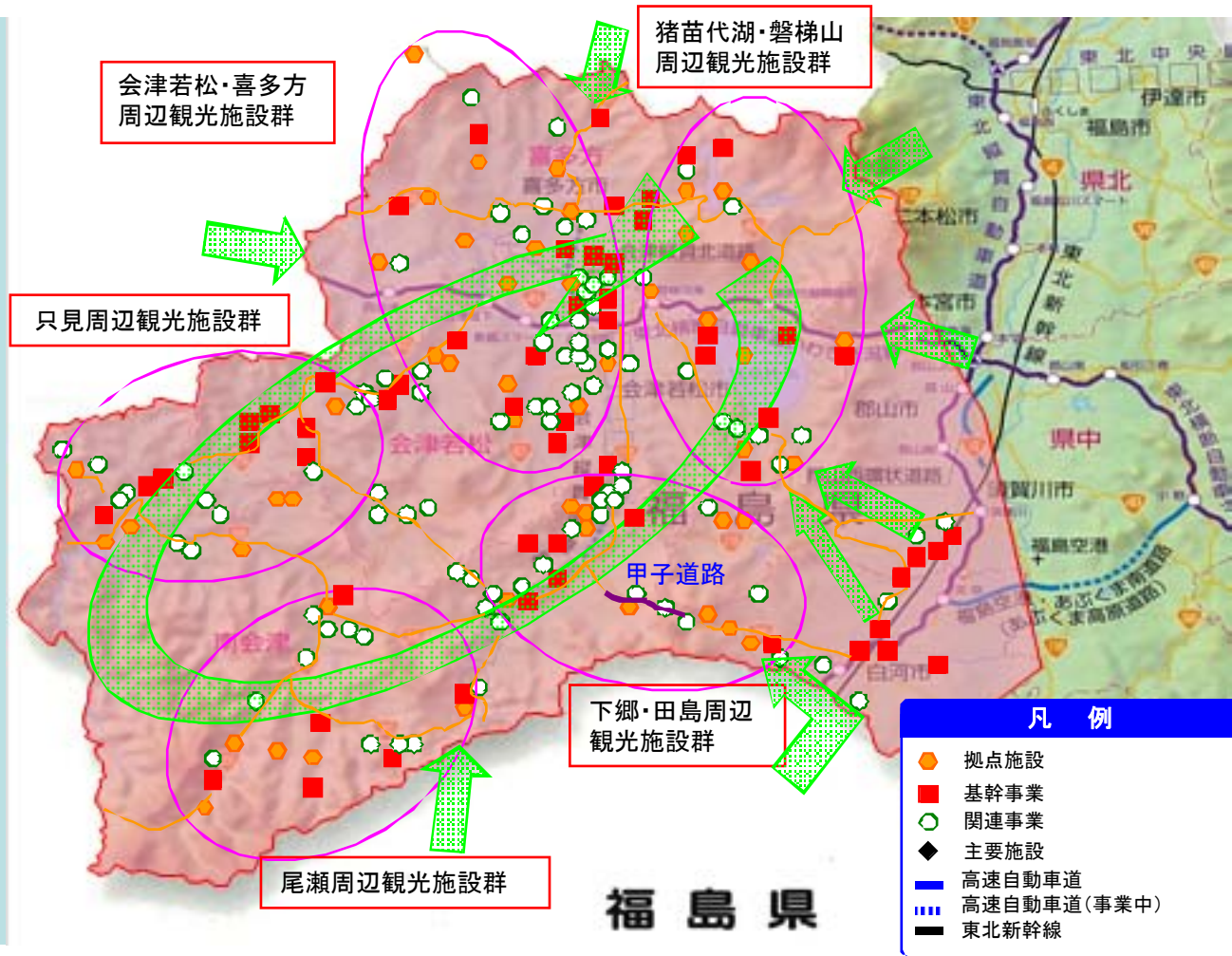
**2. 目標を定量化する主な指標**  
 製品出荷額（億円）：  
 8,707（H17年度）→ 12,046（H24年度）  
 港湾取扱貨物量（万トン）：  
 504（H18年度）→ 533（H24年度）

**3. 主な事業** 道路、港湾

**4. その他** 企業立地促進法基本計画の経済産業大臣同意（H19.7）

### 計画のポイント

- ・白河と会津地域を結ぶ甲子道路の開通を契機に、会津地域の広域的な観光の活性化と国際性豊かな広域交流人口の拡大を図る。
- ・そのため、喜多方をはじめ、猪苗代湖、裏磐梯周辺、会津若松、日光国立公園から独立・単独化した尾瀬国立公園等の会津地域に分散する観光施設群の連携を強化する道路等を整備する。



**計画期間**  
平成20年度～平成24年度

#### 1. 計画の目標

会津の歴史・文化・自然を活かした広域的な観光活性化。

#### 2. 目標を定量化する主な指標

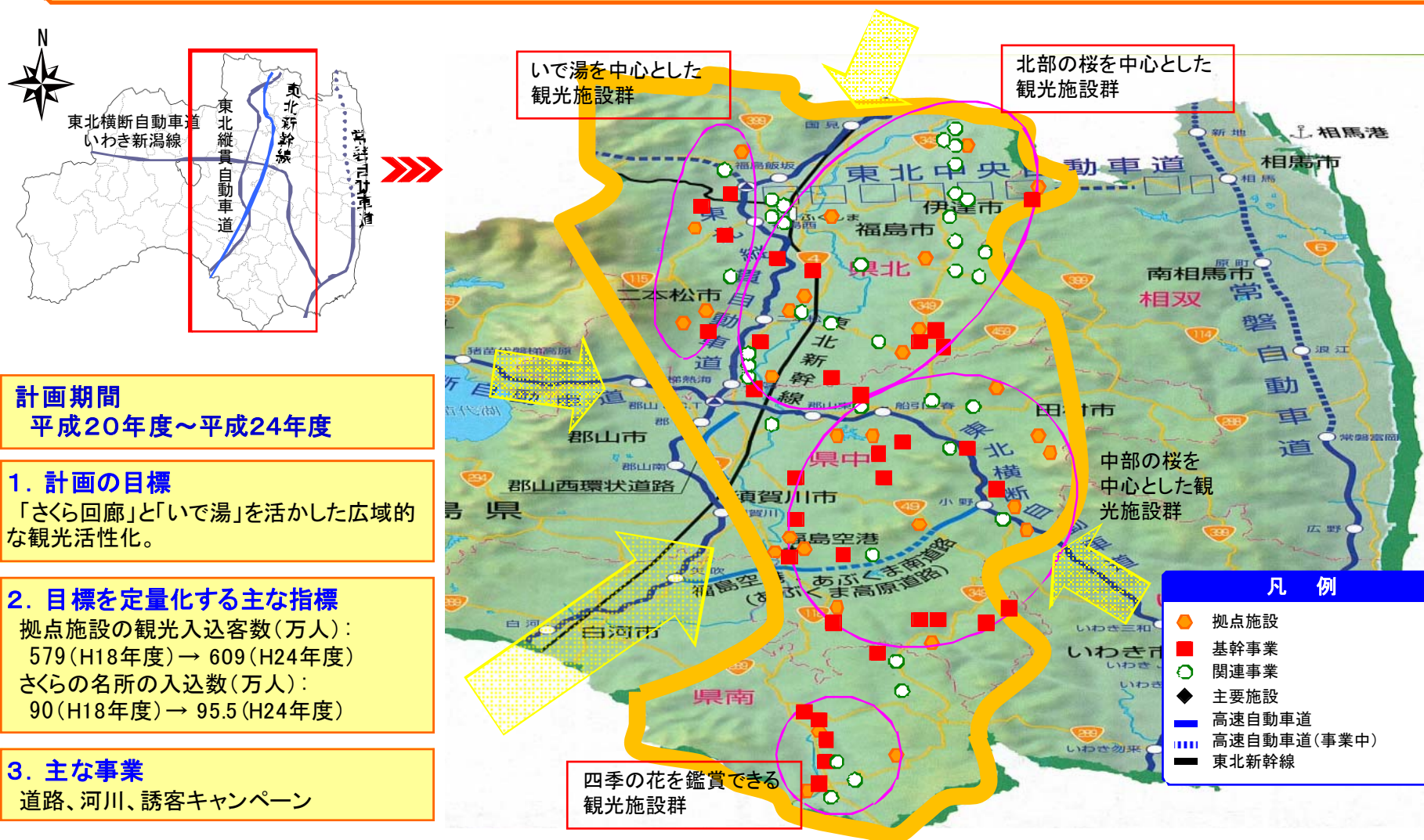
調査拠点施設の観光入込客数(万人):  
1,384(H18年度)→1,484(H24年度)  
外国人宿泊数(万人):  
4.4(H18年度)→5.5(H24年度)

#### 3. 主な事業

道路、河川、港湾、誘客キャンペーン

### 計画のポイント

- ・ふくしま空港・あぶくま南道路の全線開通を契機に、あぶくま高原地域のさくらを中心とした広域的な観光の活性化を図る。
- ・「さくら回廊」としての魅力アップと温泉群が連なるいで湯街との連携を強化するため、花見山や、三春滝桜、夏井千本桜等のさくらの名所をつなぐ道路等を整備する。



**計画期間**  
平成20年度～平成24年度

#### 1. 計画の目標

「さくら回廊」と「いで湯」を活かした広域的な観光活性化。

#### 2. 目標を定量化する主な指標

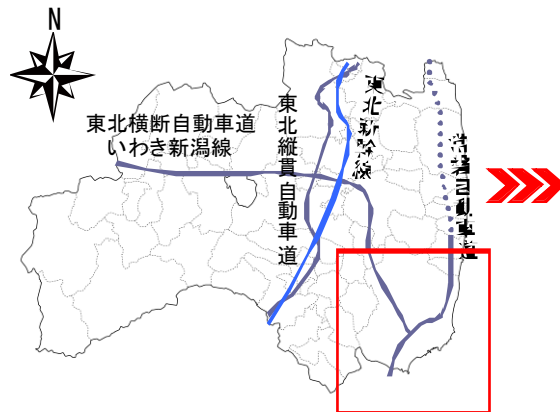
拠点施設の観光入込客数(万人):  
579(H18年度)→609(H24年度)  
さくらの名所の入込数(万人):  
90(H18年度)→95.5(H24年度)

#### 3. 主な事業

道路、河川、誘客キャンペーン

### 計画のポイント

- ・いわき地域には、緑豊かな阿武隈高地と風光明媚な太平洋を望む海浜に、数多くの自然やレジャー、文化施設が整備されており、これら観光資源へのアクセス性を向上させることにより、観光の活性化を図る。
- ・そのため施設群の連携を図る道路整備等を行う。



計画期間  
平成20年度～平成24年度

#### 1. 計画の目標

山と海を活かした広域的な観光活性化

#### 2. 目標を定量化する主な指標

観光入込客数(万人):

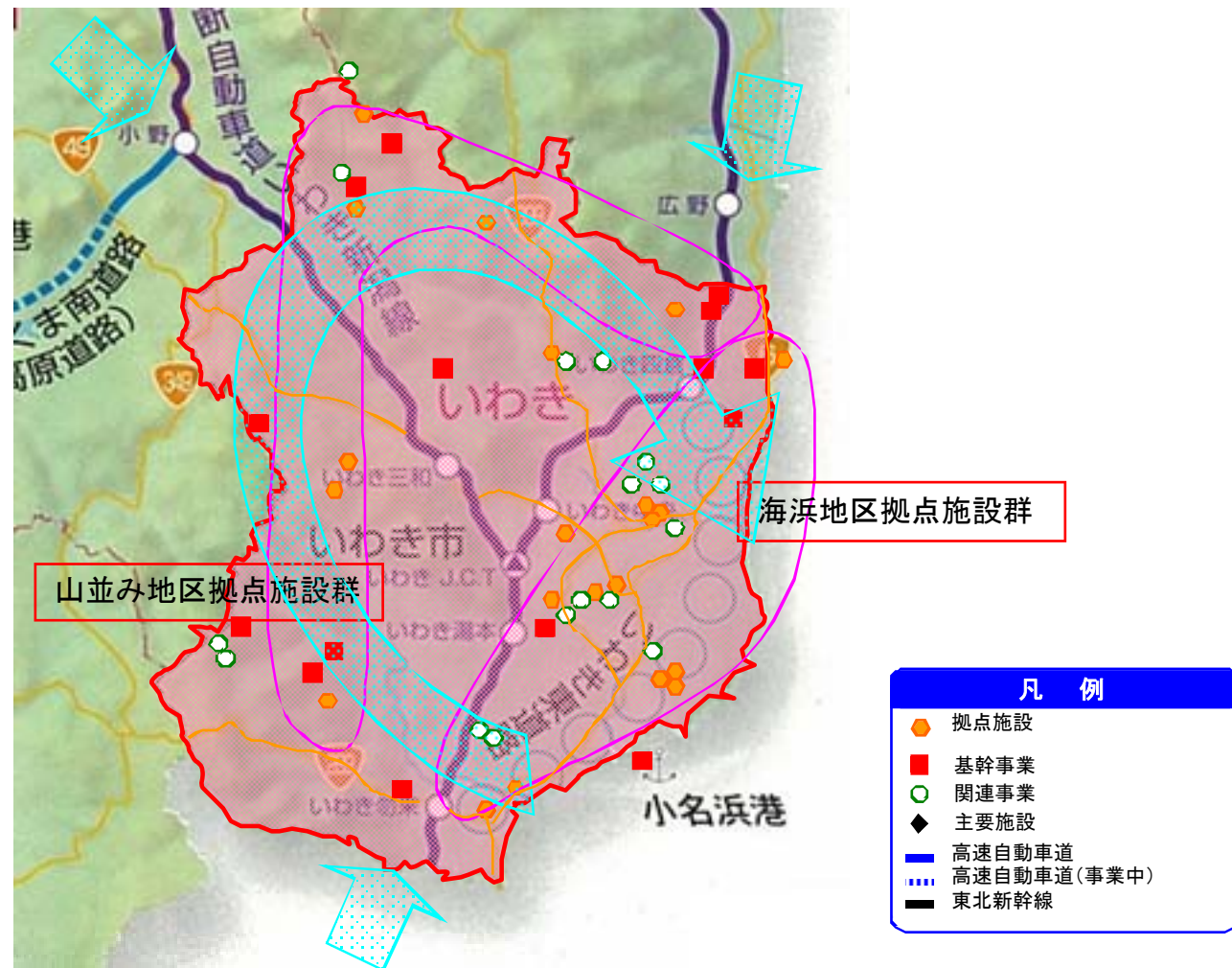
782(H18年度)→821(H24年度)

観光交流人口(万人):

1,060(H18年度)→1,113(H24年度)

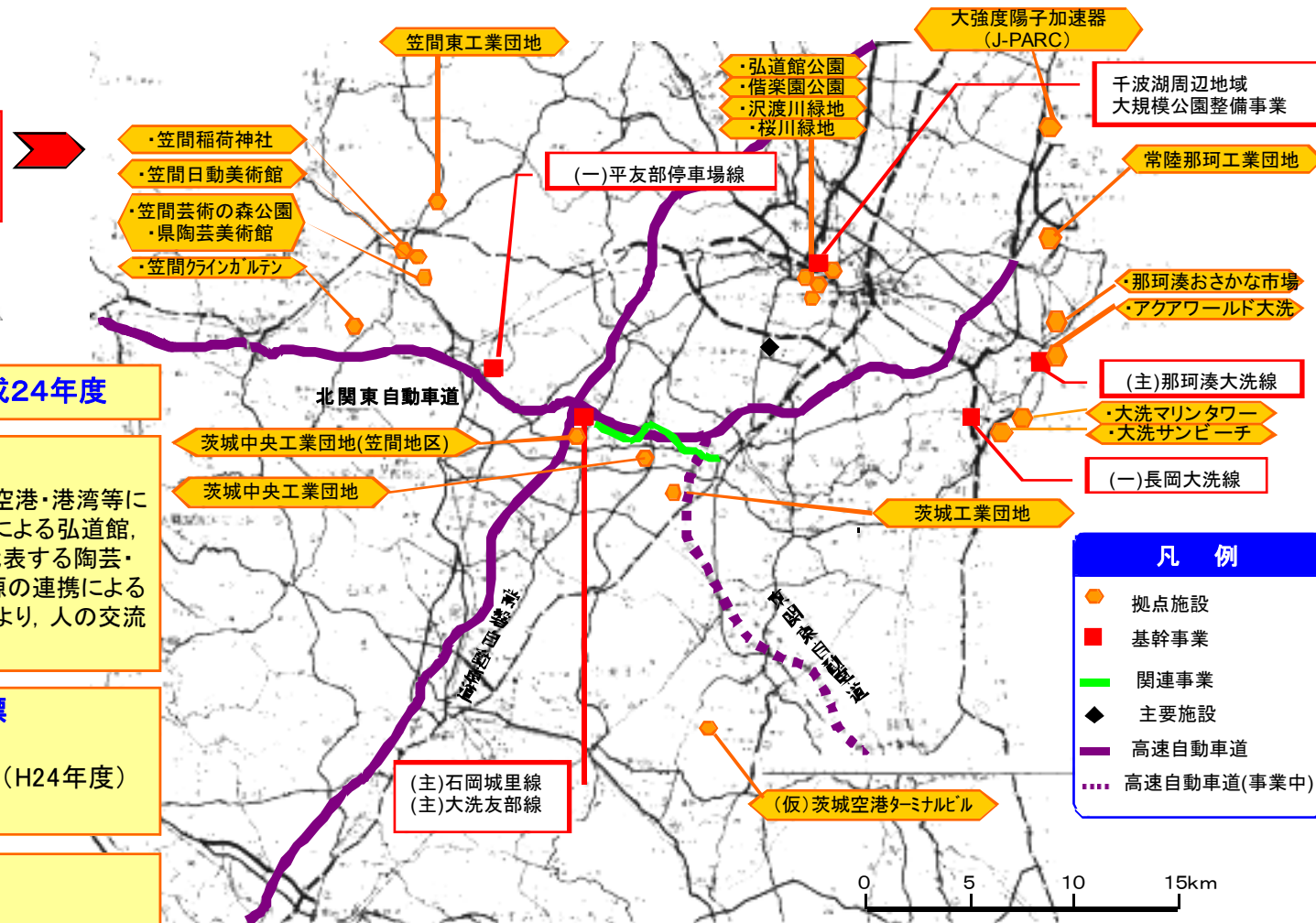
#### 3. 主な事業

道路、河川、誘客キャンペーン



### 計画のポイント

- ・北関東自動車道の開通や茨城空港の開港により形成される北関東自動車道沿線地域における広域交通ネットワークを活かし、広域的な観光及び産業の活性化を図る。
- ・そのため、北関東自動車道沿線地域の観光施設等へのアクセス向上を目的とした道路等の整備を行うとともに施設利用促進のための取組を行う。



### 計画期間 平成20年度～平成24年度

#### 1. 計画の目標

北関東自動車道や周辺道路・茨城空港・港湾等により形成される広域交通ネットワークによる弘道館、偕楽園などの文化遺産群や関東を代表する陶芸・海水浴エリアなど、点在する観光資源の連携による広域観光活動の活性化を図ることにより、人の交流促進等を進める。

#### 2. 目標を定量化する主な指標

年間観光客数(万人):  
1,380(H18年度)→1,600(H24年度)

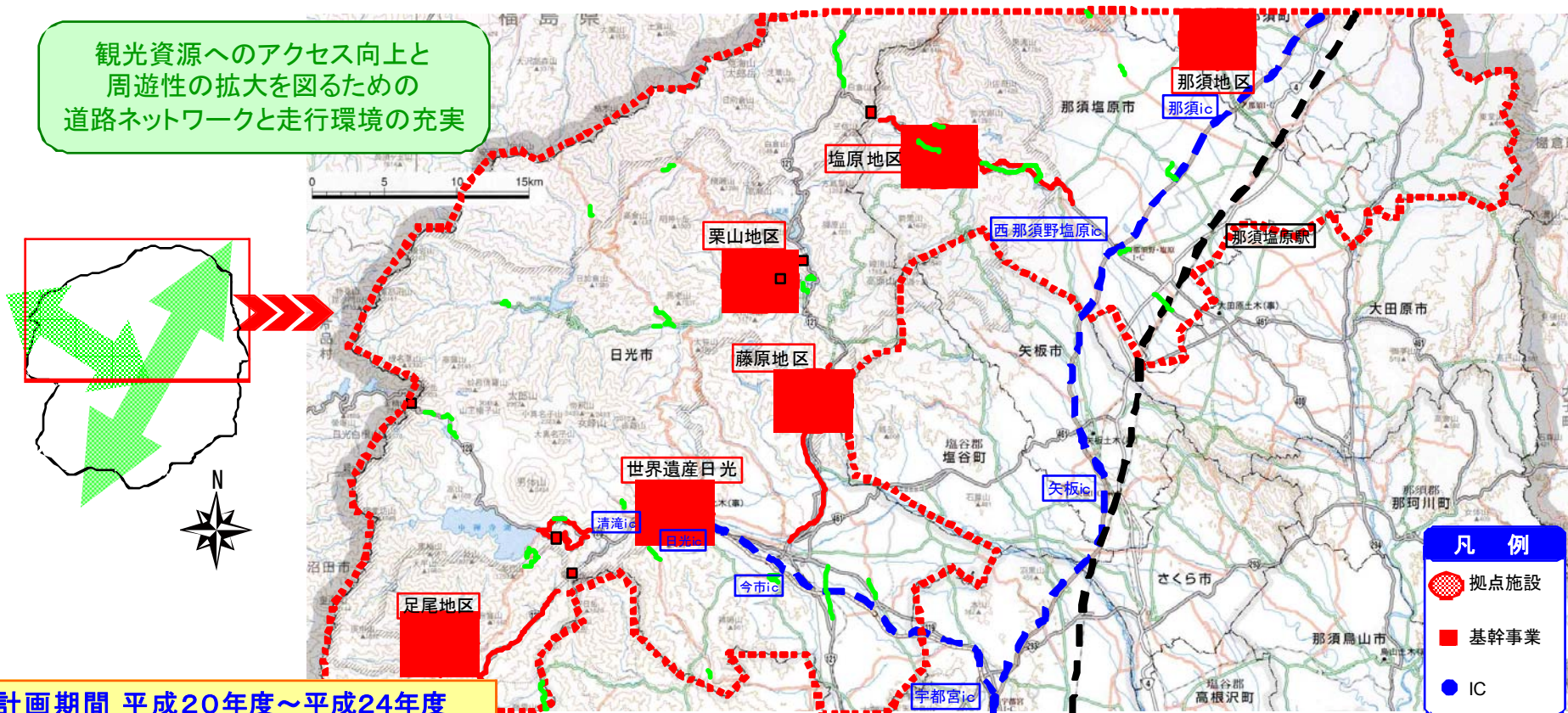
#### 3. 主な事業

道路, 区画整理事業

### 計画のポイント

- ・国際観光地「日光国立公園地域」は、世界遺産登録をピークに観光客が減少しており、観光活性化が急務である。
- ・そのため、拠点施設へのアクセス道路及び周遊連絡道路を関連道路整備事業と併せて整備し、安全・安心・快適な観光ネットワークの充実を図る。

観光資源へのアクセス向上と  
周遊性の拡大を図るための  
道路ネットワークと走行環境の充実



計画期間 平成20年度～平成24年度

#### 1. 計画の目標

・国際観光地として内外から高い集客力をほこる「日光」と周辺地域への入込み客数を増加させるため、安全・安心・快適に楽しめる観光地となるよう、各拠点間の周遊性を高め、観光ネットワークの充実を図る。

#### 2. 目標を定量化する指標

観光入込客数(千人):  
17,276(H18年)→18,140(H25年)  
トンネル快適走行率(%):  
91.8(H18年)→95.1(H25年)

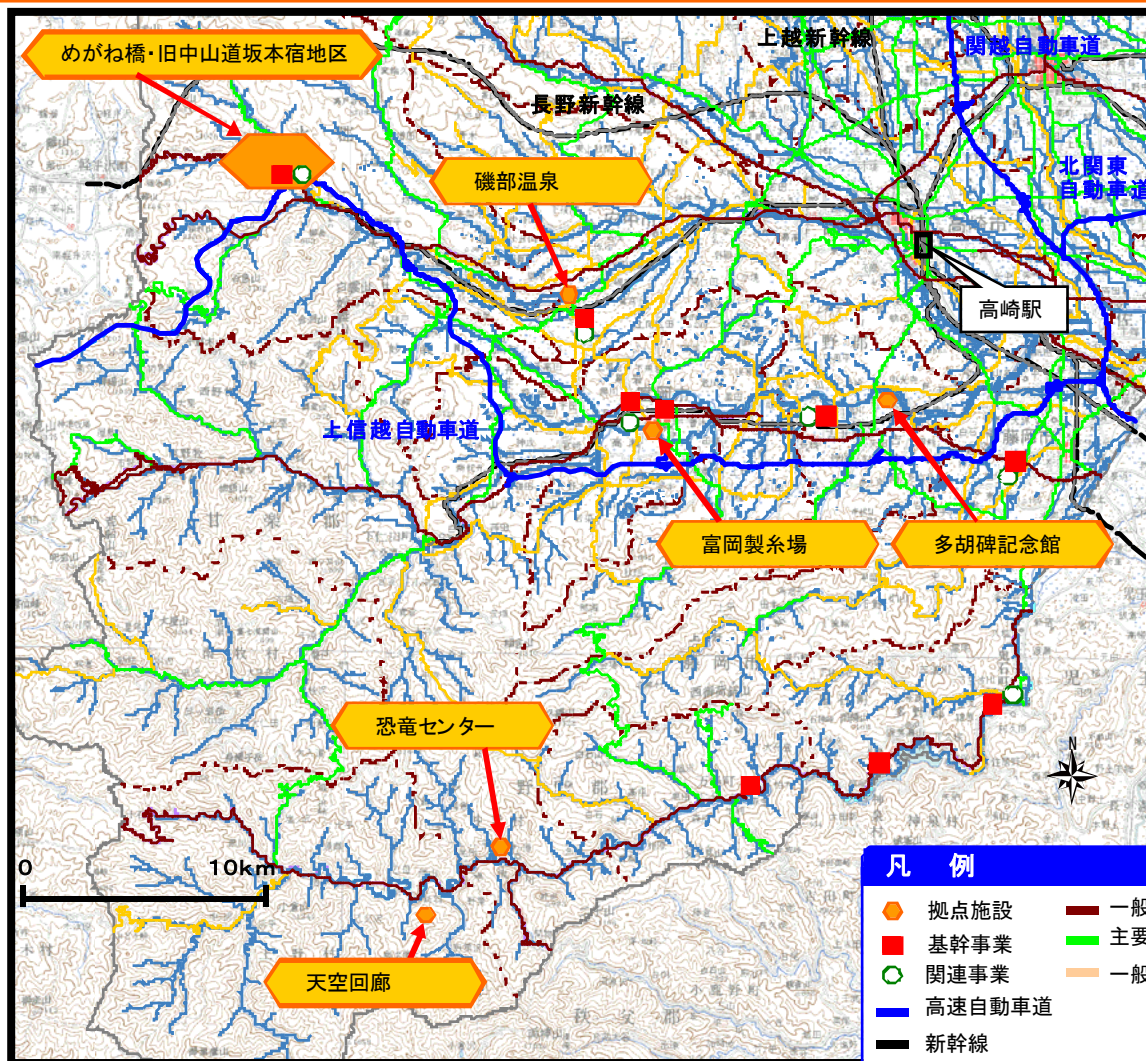
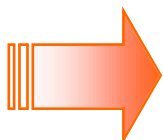
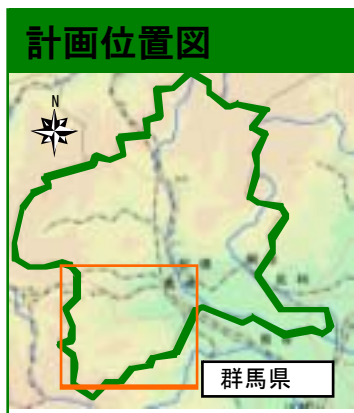
#### 3. 主な事業

道路  
観光情報機器整備

### 計画のポイント

- ・群馬西毛地域において、富岡製糸場の世界遺産登録運動などを契機に、西毛地域に点在する各観光資源の連結などを図り、観光地としての魅力向上を図る。
- ・そのために、各観光地間のアクセス道路整備並びに観光資源と一体となった魅力的な道路整備を行う。

### 計画位置図



計画期間 平成20年度～平成24年度

### 1. 計画の目標

群馬西毛地域に点在する観光資源を結びつけ回遊性を確保するために、移動制約の最小化を図るとともに、観光資源と一体となった街並みを形成し、観光地としての魅力を高める。

### 2. 目標を定量化する主な指標

西毛地域観光入込客数(万人):  
1,332万人(H18年度)→1,500万人(H24年度)

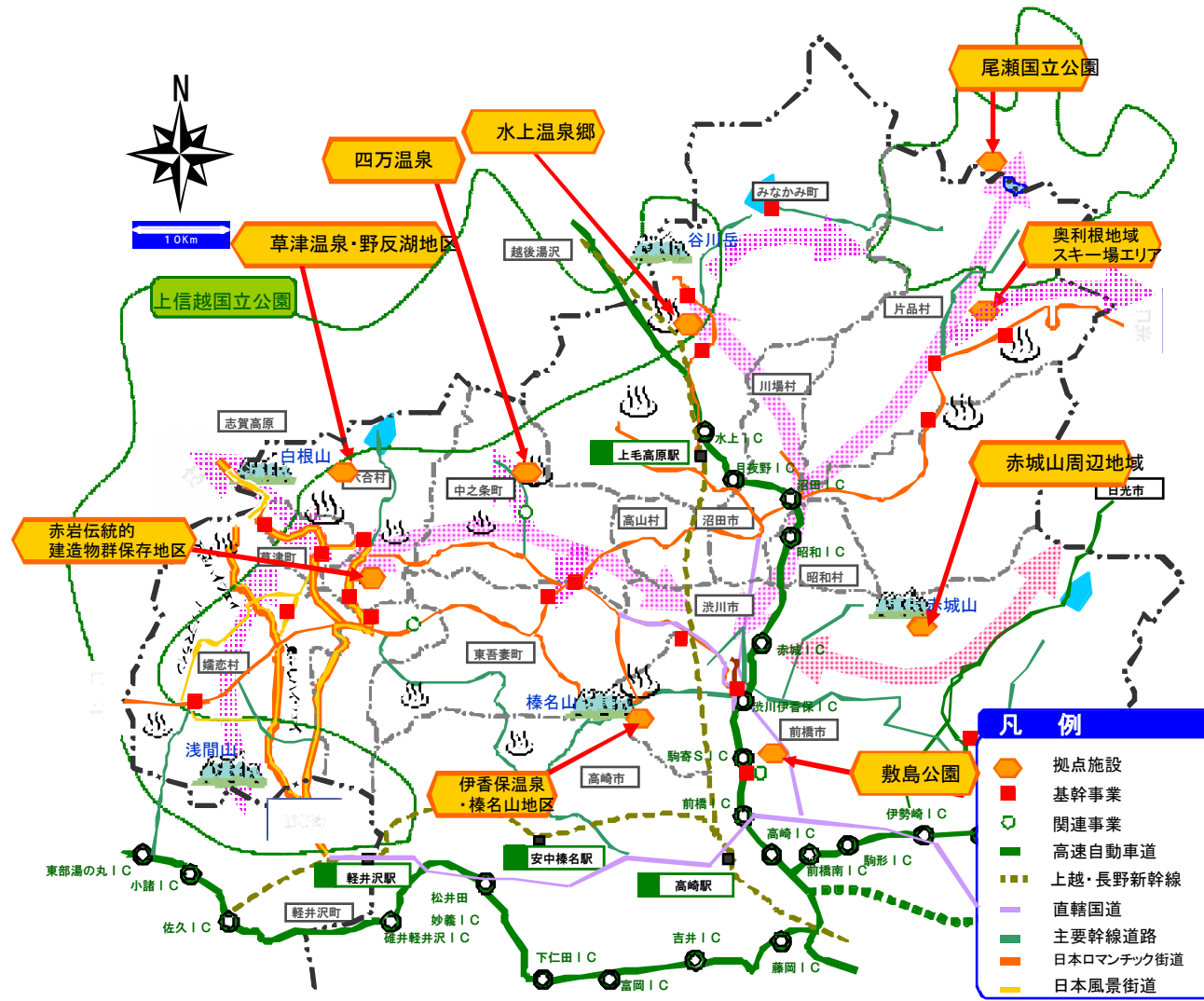
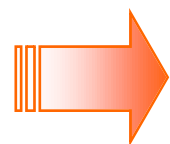
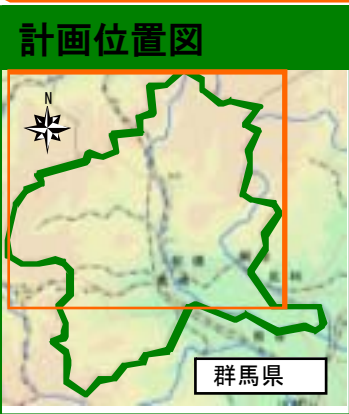
### 3. 主な事業

道路



### 計画のポイント

- ・尾瀬国立公園の誕生や日本風景街道、「赤岩地区養蚕農家群」の世界遺産登録暫定リスト登録を契機とし、高速交通網の延伸による観光集客圏の拡大を見据えて、広域的な観光の活性化等を図る。
- ・そのため、広域的観光拠点へのアクセス機能と観光資源の相互連携を強化する道路を整備する。



計画期間 平成20年度～平成24年度

### 1. 計画の目標

高速交通網の延伸による観光集客圏の拡大にあわせ、広域観光拠点へのアクセス機能の強化を図るとともに、広域に及び観光資源を相互に連携・ネットワーク化を図り、より多様な魅力を提供できる広域観光圏域の形成を図り、広域的観光の振興を目指す

### 2. 目標を定量化する主な指標

北毛地域観光入込客数(万人):  
 4,516(H18年度) → 5,086(H24年度)  
 外国人観光客数  
 7.3(H18年度) → 11(H24年度)

### 3. 主な事業

道路

凡例	
	拠点施設
	基幹事業
	関連事業
	高速自動車道
	上越・長野新幹線
	直轄国道
	主要幹線道路
	日本ロマンチック街道
	日本風景街道

### 計画のポイント

TXの開通を契機に沿線の広域商業拠点への新たな来訪者の増加を図るため、秋葉原地区においては新たな商業集積に必要な都市基盤整備を進め、六町・花畑地区等では、地域交通ネットワーク拠点であるTX駅へのアクセス道路の整備、都市居住基盤づくりを行い、また、各商業拠点の魅力の拡大及び人々の交流の場の整備を進めることで、周辺地域からのさらなる人の集積と交流の拡大を図り、TX沿線での広域的な商業活動を促進する。



秋葉原クロスフィールド



南千住西口駅前地区  
第一種市街地再開発事業

計画期間 平成20年度～平成24年度

### 1. 計画の目標

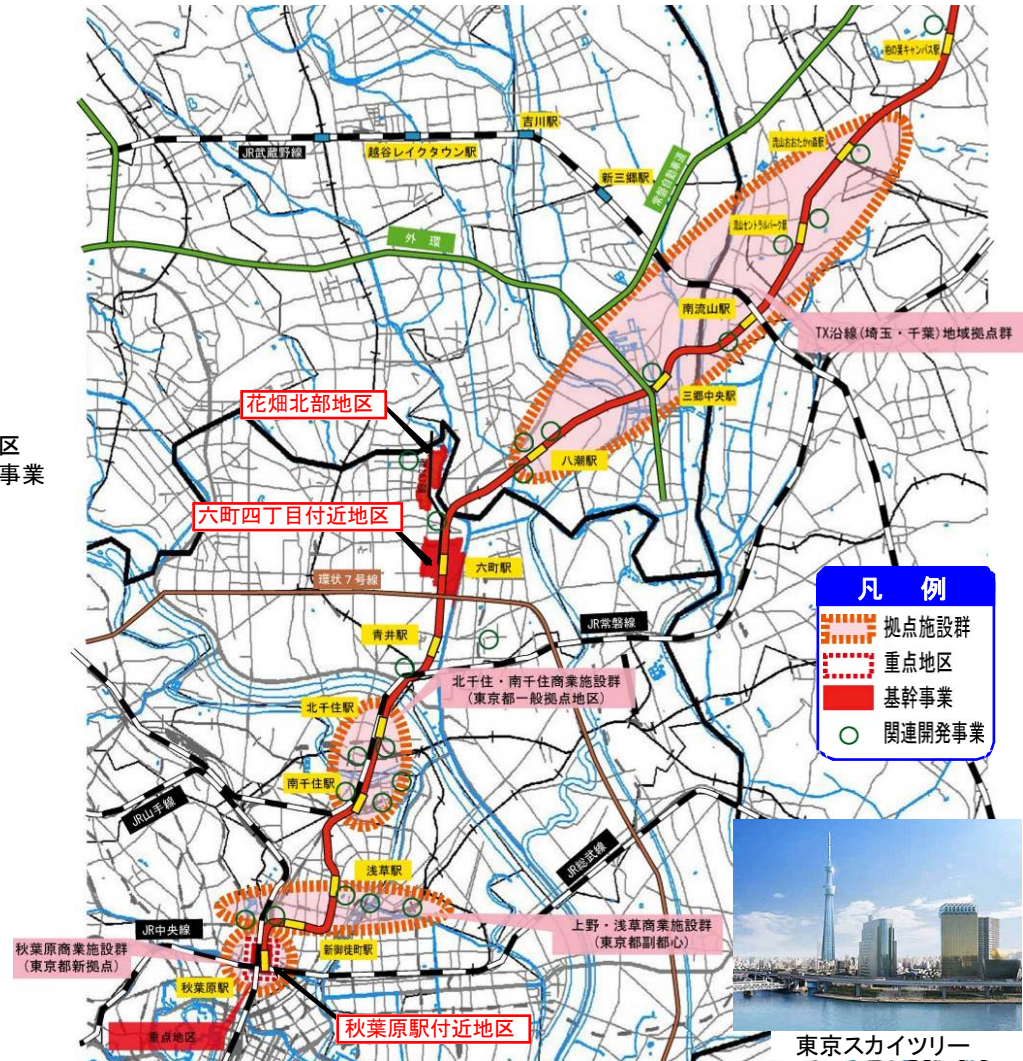
魅力ある広域商業活動拠点の育成、TX沿線地区の良質な居住環境の形成の推進による商業活動拠点への来訪者の増大及び商業活動の促進を図ることで、TXの利用者の拡大による沿線地域の持続的な活性化を実現することを目標とする。

### 2. 目標を定量化する主な指標

- ・TX秋葉原駅～流山おおたかの森駅間の乗車人数(人/日)  
183,000(H20)→211,000(H24)
- ・TX秋葉原駅の乗車人数(人/日) 24,500(H20)→28,760(H24)
- ・商業活動拠点の販売額(百万円) 442,529(H20)→464,600(H24)

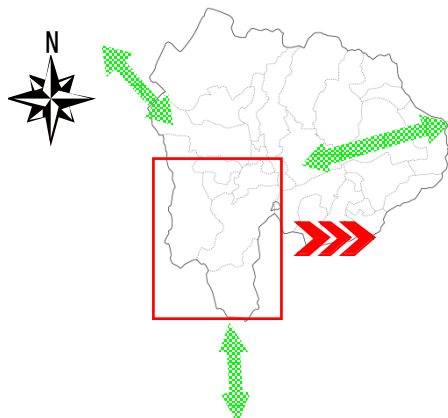
### 3. 主な事業

土地区画整理事業



### 計画のポイント

- ・峡南地域に数多く分布する伝統的な工芸・風俗や風光明媚な景勝地などの知られざる地域資源へのアクセス性を向上させることにより、滞在型観光を主体とした地域活性化を図る。
- ・そのため、観光・宿泊施設へのアクセスや回遊機能を強化するための道路整備を行う。



計画期間 平成20年度～平成24年度

#### 1. 計画の目標

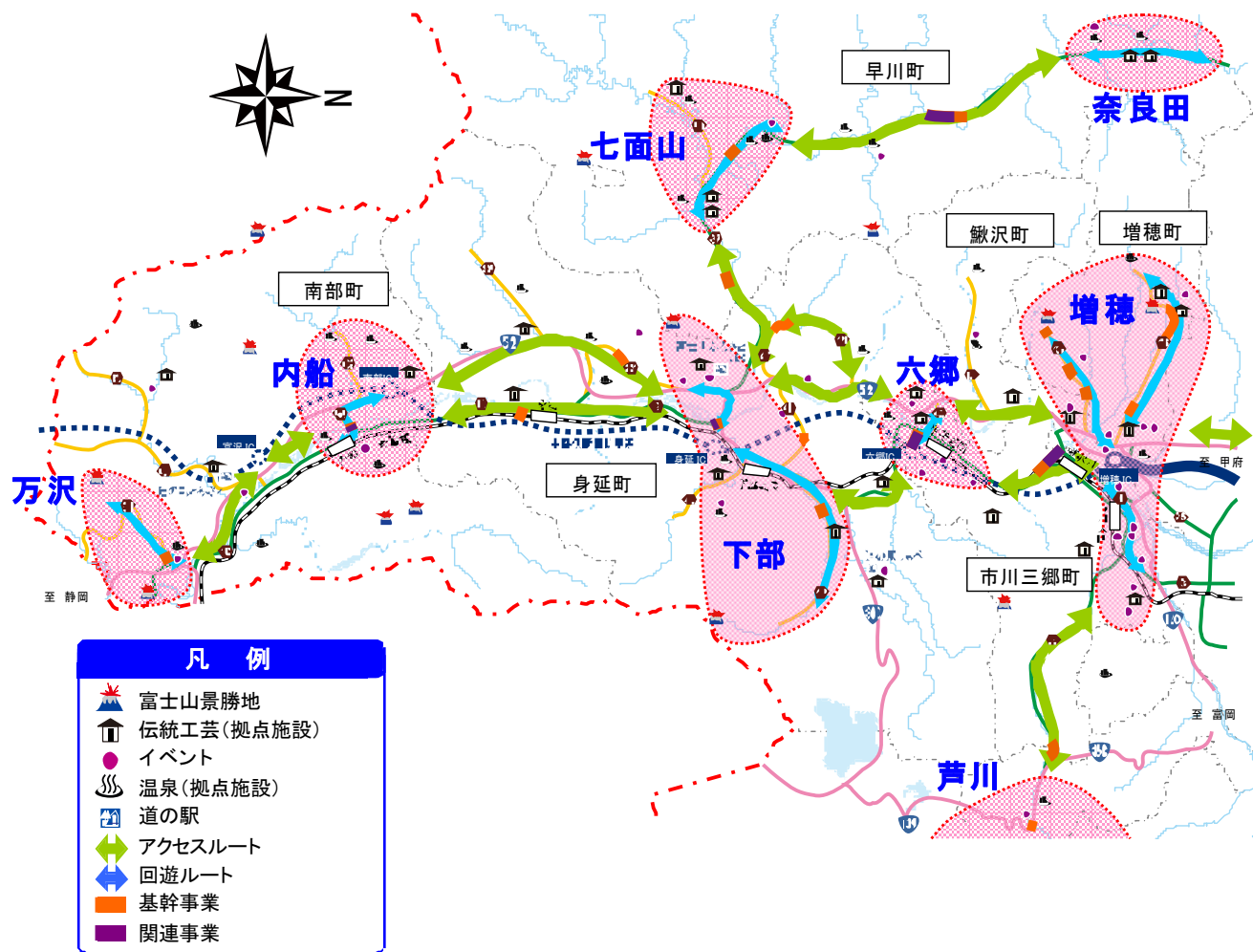
峡南地域における移動円滑性の確保により、滞在型観光地としての集客力や魅力の向上を図る。

#### 2. 目標を定量化する指標

- 走りにくい道路の改良延長(km):  
 - (H20年度) → 3.7 (H24年度)
- アクセス時間の短縮率(%):  
 - (H20年度) → 3 (H24年度)
- 当該地域の宿泊客数(万人/5年):  
 - (H20年度) → 12 (H24年度)

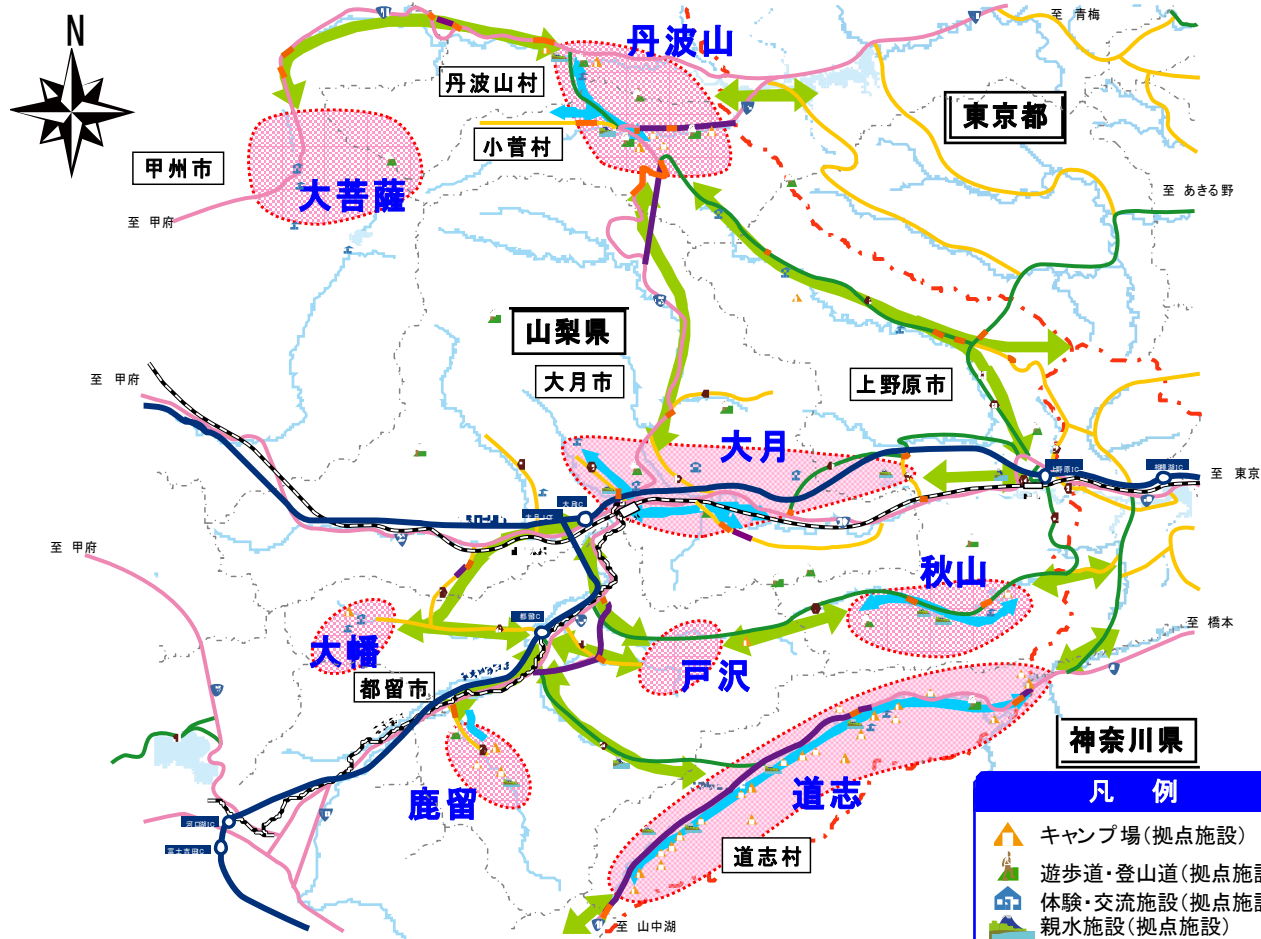
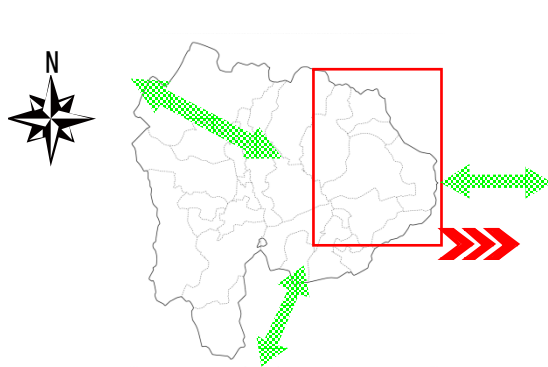
#### 3. 主な事業

道路



### 計画のポイント

・富士北麓地域に数多く存在する農山村交流施設へのアクセスの強化と回遊性の向上を図るための道路整備を行い、自然とふれあう機会の増大による地域の魅力向上および都市と農山村との交流活性化を図る。



凡例	
	キャンプ場(拠点施設)
	遊歩道・登山道(拠点施設)
	体験・交流施設(拠点施設)
	親水施設(拠点施設)
	道の駅
	アクセスルート
	回遊ルート
	基幹事業
	関連事業

### 計画期間 平成20年度～平成24年度

#### 1. 計画の目標

富士東部地域における拠点施設へのアクセス性向上により、地域の魅力向上に伴う都市と農山村との交流活性化を図る。

#### 2. 目標を定量化する指標

- 走りにくい道路の改良延長(km):
  - － (H20年度) → 4.9 (H24年度)
- アクセス時間の短縮率(%):
  - － (H20年度) → 1 (H24年度)
- 当該地域の来訪客数(万人/5年):
  - － (H20年度) → 89 (H24年度)

#### 3. 主な事業

道路・河川

### 計画のポイント

陸・海・空の交流基盤と拠点施設相互を結び、3大都市圏を始めとした全国各地域からの広域的な交流活動を活性化する。

### 【陸・海・空の交流基盤】

北陸新幹線

高速道路(北陸自動車道etc)  
主要幹線道路(国道8号etc)

重要港湾  
(金沢港、七尾港)

1県2空港  
(小松空港、能登空港)



- ・ 交流基盤と拠点施設間相互のアクセス道路の整備
- ・ 拠点施設と一体となったまちなみ整備

### 広域交流活動の活性化 (観光誘客数の増加)

### 計画期間 平成20年度～平成24年度

#### 1. 計画の目標

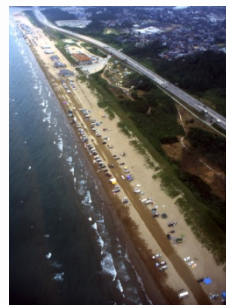
陸・海・空の交流基盤と豊かな観光資源を活用した観光誘客数の増加

#### 2. 目標を定量化する主な指標

県内観光誘客数の増加 (万人) :  
 2,040万人 (H17年度) → 2,340万人 (H24年度)  
 → 2,500万人 (H27年度)  
 三大都市圏観光誘客数の増加 (万人)  
 690万人 (H17年度) → 880万人 (H24年度)  
 → 1,000万人 (H27年度)

#### 3. 主な事業

道路、街路、河川、基盤整備支援事業



千里浜なぎさ  
ドライブウェイ



和倉温泉



加賀温泉郷 (山中温泉)

# 岐阜県全域広域活性化計画の概要

岐阜県

## 計画のポイント

- ・平成24年(2012年)ぎふ清流国体の開催により、多数の選手団や観客の来県が予想される。
- ・そのため、選手団や観客を受け入れるための態勢を整えるとともに、交流人口を拡大するための道路等の基盤整備を進めることにより、国体を契機とした観光及びスポーツの振興を図り、活性化した地域を形成する。

## 計画期間 平成20年度～平成24年度

### 1. 計画の目標

ぎふ清流国体を契機とした観光・スポーツ振興による交流人口の拡大

### 2. 目標を定量化する主な指標

- 拠点施設となる国体会場施設の利用者数(千人)  
1,039(H18年度)→1,090(H24年度)
- 観光入り込み客数(万人)  
5,037(H18年度)→6,000(H24年度)

### 3. 主な事業

- 道路、河川
- 岐阜メモリアルセンターの維持補修・改修(提案事業)

### 4. 主な拠点施設

- |                |                  |                 |
|----------------|------------------|-----------------|
| 1: 岐阜メモリアルセンター | 16: 美濃市特設ロードレース場 | 32: 馬籠宿         |
| 2: 岐阜アリーナ      | 17: 中池公園         | 33: 郡上市合併記念公園   |
| 3: 糸貫川スタジアム    | 18: プラザちゅうがい     | 34: あさぎりスポーツ公園  |
| 4: 山県市総合体育館    | 19: 川辺漕艇場        | 35: 郡上八幡        |
| 5: 大野町運動公園     | 20: 愛岐カントリークラブ   | 36: 下呂温泉街       |
| 6: 岐阜城         | 21: うづつの上がる街並み   | 37: 飛騨高山ビッグアリーナ |
| 7: 長良川温泉街      | 22: 日本昭和村        | 38: 飛騨古川ふれあい広場  |
| 8: 谷汲山華厳寺      | 23: 日本ライン下り      | 39: 桜ヶ丘体育館      |
| 9: 南公園運動場      | 24: 花フェスタ記念公園    | 40: 飛騨高山の街並み    |
| 10: 大垣北公園      | 25: 多治見市総合体育館    | 41: 飛騨古川の古い街並み  |
| 11: 赤坂スポーツ公園   | 26: 多治見市営球場      | 42: 奥飛騨温泉郷      |
| 12: 池田町総合体育館   | 27: 虎渓山永保寺       | 43: 白川郷         |
| 13: 朝倉運動公園     | 28: セラミックパークMINO |                 |
| 14: 大垣城        | 29: まきがね公園       |                 |
| 15: 関ヶ原古戦場     | 30: 東美濃ふれあいセンター  |                 |
|                | 31: 恵那峡県立自然公園    |                 |

**凡 例**

- 拠点施設
- 主要拠点施設
- 重点地区
- 基幹事業
- 関連事業

- ・主要施設へのアクセス強化
- ・来県者の周遊性の向上
- ・主要施設周辺の安全性の向上及び周辺環境の整備

岐阜県の交流人口の拡大



### 計画のポイント

- ・尾張西部地域は、わが国最大の貿易額を誇る名古屋港や名神高速道路などの国際・広域交流基盤が位置しているものの、その機能を十分に生かしていない。また、地域を支えてきた繊維関連産業が海外との競争により衰退傾向にあり、地域の活力が低下している。
- ・そのため、名古屋港や高速道路網へのアクセス強化等を行うことにより、物流機能の強化と地域産業の育成を図る。

計画期間 平成20年度～平成24年度

#### 1. 計画の目標

国際・広域交流基盤を活用した物流の円滑化及び地域産業構造の転換による地域競争力の強化

#### 2. 目標を定量化する主な指標

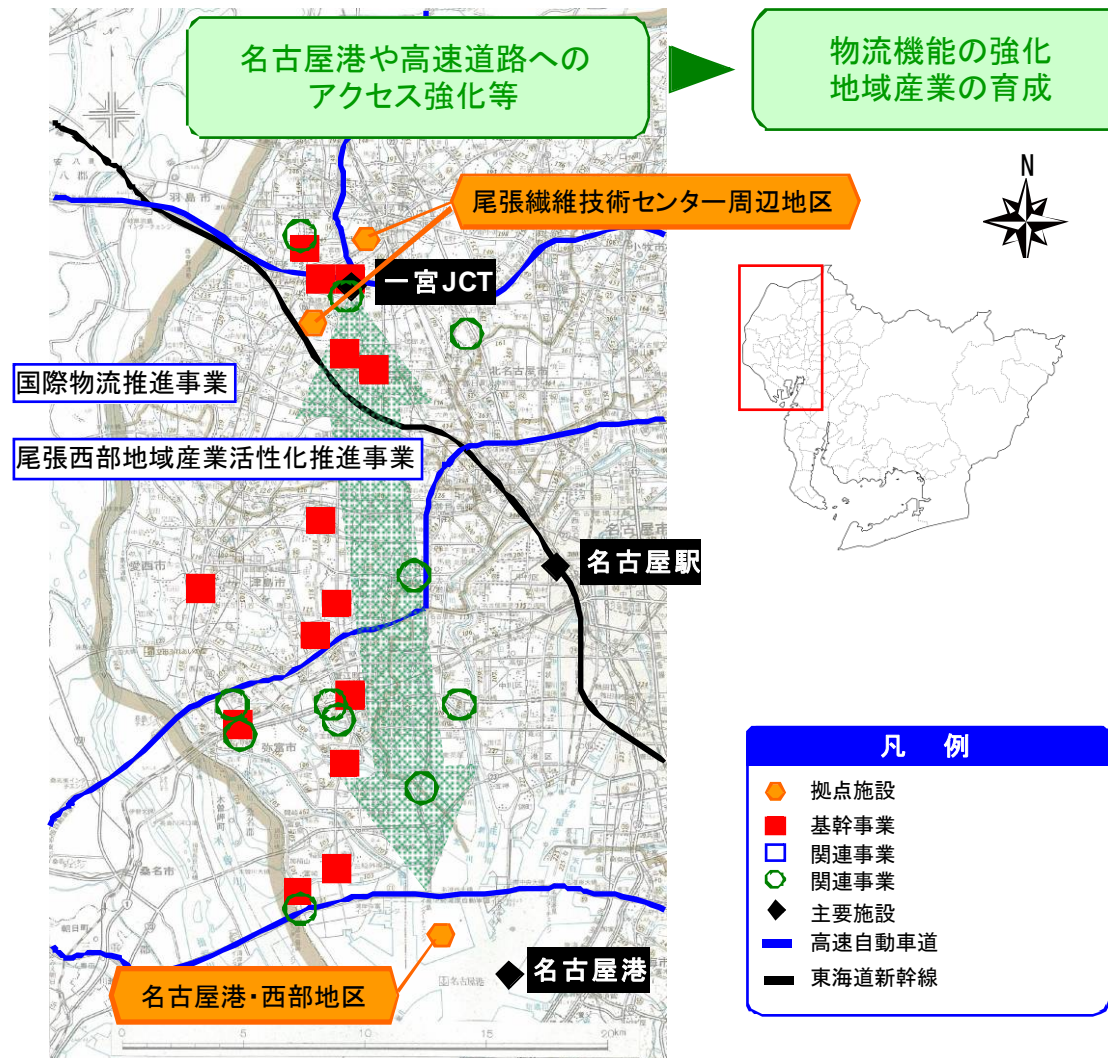
名古屋港における年間取扱貨物量(百万トン)  
208(H18)→ 230(H24)  
西尾張地域における集積業種全体の付加価値額(億円):  
5,600(H19推計)→ 6,400(H24)

#### 3. 主な事業

道路 国際物流推進事業  
尾張西部地域産業活性化推進事業

#### 4. その他

企業立地促進法基本計画(西尾張地域)の経済産業大臣同意(H20.2.1)



### 計画のポイント

- ・福井県立恐竜博物館、えちぜん鉄道勝山駅を中心とした九頭竜川流域一帯を恐竜渓谷（ダイノソーパーレー）と位置付け、恐竜のまちとしてPR、イメージアップを強化し、観光客誘致を図る。
- ・恐竜博物館の県外来館者が8割を占めることから、道路、道路標識の整備により恐竜博物館へのアクセス向上を図るとともに、鉄道駅の周辺整備により鉄道で結ばれる観光地の回遊性を高め、広域観光の活性化を図る。

### 1. 計画の目標

福井県立恐竜博物館への来館者数の増加および奥越地域の観光客数の増加

### 2. 目標を定量化する主な指標

福井県立恐竜博物館来館者数(万人)  
30万人(H18年度)→42万人(H24年度)

### 3. 主な事業

道路、河川、観光情報提供

計画期間 平成20年度～平成24年度





# 滋賀県東北部地域広域活性化計画の概要

滋賀県

## 計画のポイント

- ・交通の要衝であるJR米原駅隣接の滋賀統合物流センター(SILC)や長浜市域の企業立地促進法基本計画等により魅力ある産業基盤を創出し、**新たな企業進出を通じた地域活性化と新たな人口定着・雇用創出**を図る。
- ・そのため、次世代の生産・物流拠点整備を促していく一方で、**新たな物流需要に必要な道路を整備**する。



### 1. 計画の目標

県東北部の活性化を目指した官民連携した産業基盤づくり

### 2. 目標を定量化する主な指標

- ・鉄道貨物量(万t/年):  
0.4(H17年度)→40.0(H24年度)
- ・工業団地進出企業数(社):  
0(H19年度)→10(H24年度) ※累計

### 3. 主な事業

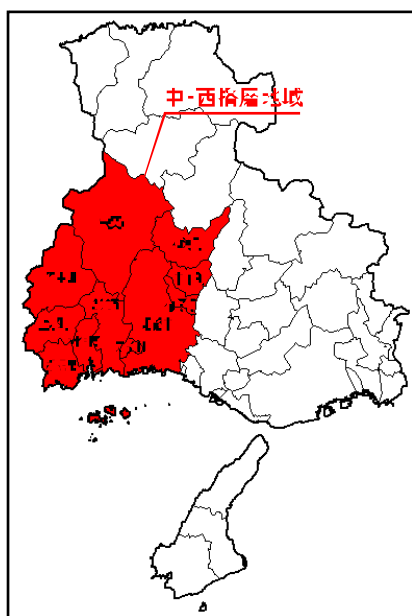
道路

### 4. その他

- ・県版経済特区認定地区:2地区
- ・企業立地促進法基本計画の経済産業大臣同意(H19.12)
- ・米原貨物ターミナル駅および(仮)湖東三山スマートICによる交通結節機能の拡充

### 計画のポイント

- ・中・西播磨地域では、世界文化遺産姫路城をはじめ、歴史的街並みや近代産業遺構などの歴史遺産と豊かな自然を有しているが、観光資源が点在しているために日帰りや通過型の観光が主体となっている。
- ・そのため、核都市姫路やICからのアクセス強化のための道路整備や地域の魅力向上のための河川環境整備などを行い、滞在型観光の推進を図る。



計画期間 平成20年度～平成24年度

### 1. 計画の目標

姫路城をはじめとする歴史資産や森林、清流、なぎさなどの豊かな自然を活かした広域的な観光活性化を図る。

### 2. 目標を定量化する主な指標

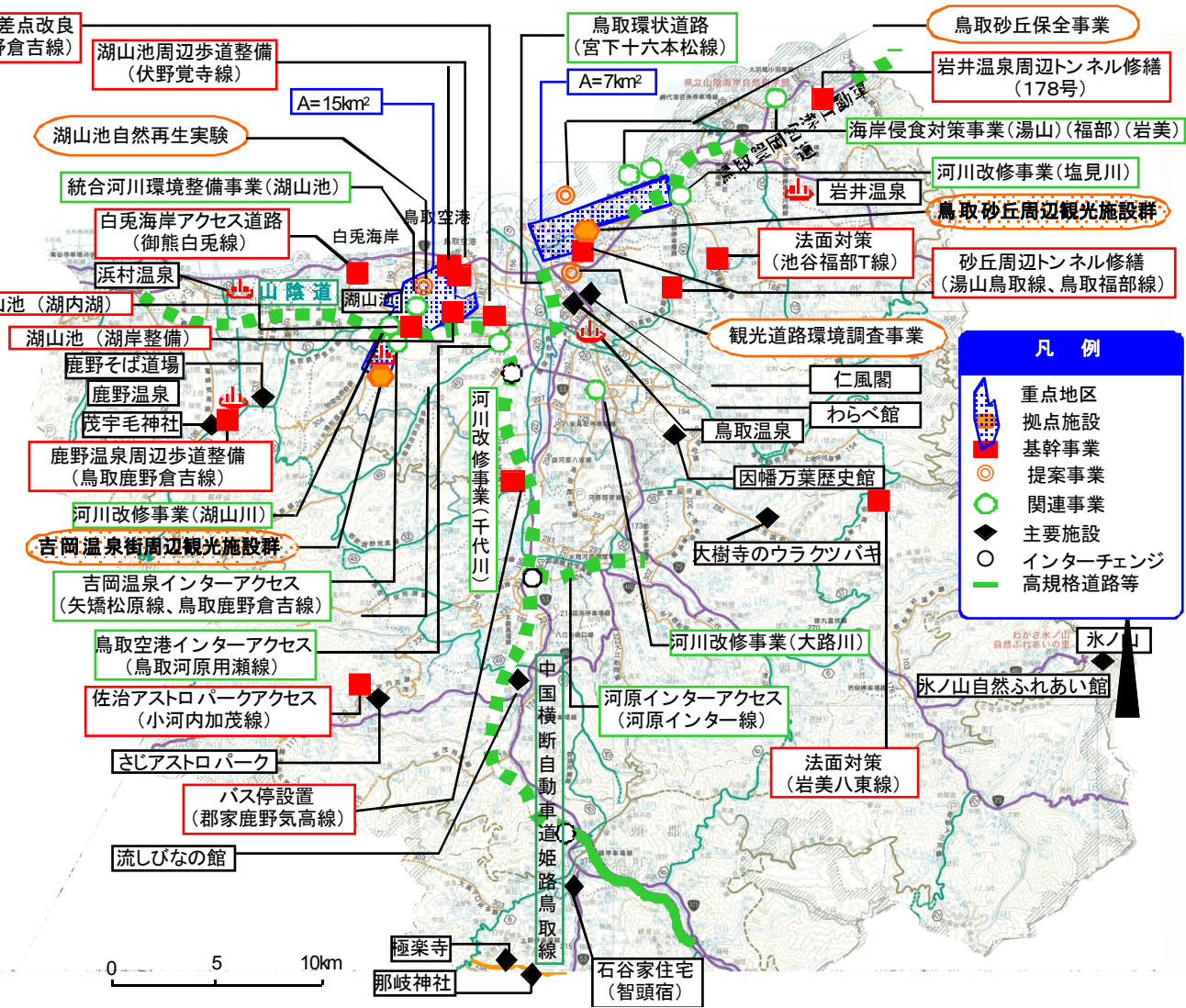
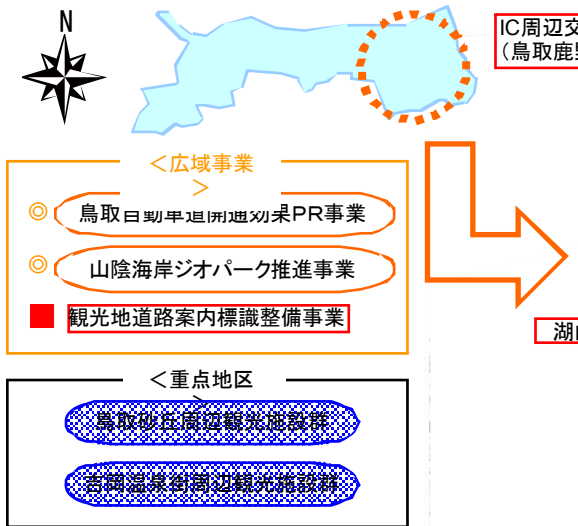
観光入込客数(万人):  
1,753(H18年度) → 2,040(H24年度)

### 3. 主な事業

道路、河川、  
まちづくり推進事業

### 計画のポイント

・鳥取県東部の因幡地域は、2009年の鳥取自動車道の開通により、京阪神や山陽方面からのアクセスが飛躍的に向上することを活かし、拠点の整備や高速道路から各観光資源に至る道路整備等により、観光ネットワークを充実させ、観光客を増大させる。



### 計画期間 平成20年度～平成24年度

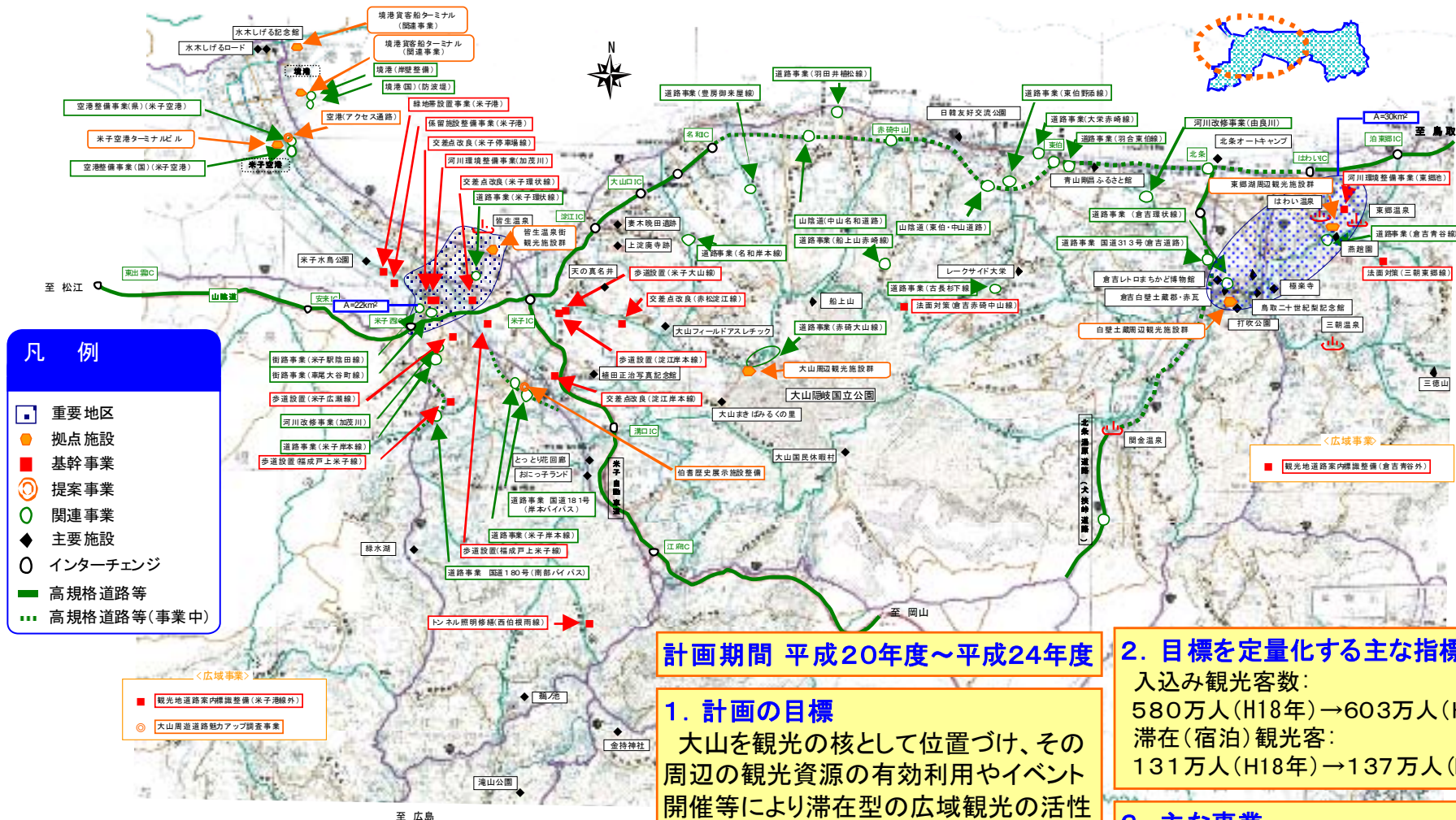
- 1. 計画の目標**  
鳥取砂丘を観光の核として位置付け、その周辺の観光資源の有効活用やイベント開催等により滞在型の広域的観光の活性化を図る
- 2. 目標を定量化する主な指標**  
入込み観光客数:  
275万人(H18年)→ 333万人(H24年)  
滞在(宿泊)観光客数:  
53万人(H18年)→ 70万人(H24年)
- 3. 主な事業**  
道路、河川

# 西伯耆地域広域活性化計画の概要

鳥取県

## 計画のポイント

・鳥取県西部の伯耆地域は、米子空港の滑走路延長や、韓国(東海)・ロシア(ウラジオストク)から境港への定期貨客船の就航を目指しており、アクセスが飛躍的に向上することを生かし、拠点の整備や米子空港、境港及び高速道路から各観光資源に至る道路整備等により、観光ネットワークを充実させ、滞在型の観光客を増大させる。



### 計画期間 平成20年度～平成24年度

**1. 計画の目標**  
 大山を観光の核として位置づけ、その周辺の観光資源の有効利用やイベント開催等により滞在型の広域観光の活性化を図る。

### 2. 目標を定量化する主な指標

入込み観光客数:  
 580万人(H18年)→603万人(H24年)  
 滞在(宿泊)観光客:  
 131万人(H18年)→137万人(H24年)

### 3. 主な事業

道路、河川、港湾、空港

### 計画のポイント

- ・水島港では、国際コンテナターミナルの整備や「水島港国際物流・産業特区」に認定を受けるなどハード整備に加えソフト施策の充実を図り、対アジア国際輸送を軸とした国際海上コンテナ貨物輸送網の拠点港湾として機能の強化を図っている。
- ・そのため、水島港の周辺地域から水島臨海工業地域へのアクセス道路の整備により、水島臨海工業地域に係る企業の事業活動の活性化を図る。



計画期間 平成20年度～平成23年度

#### 1. 計画の目標

水島臨海工業地域内の道路網および水島港を物流拠点としている市町からの主要アクセス道路等を整備し、物流機能の強化を図る。

#### 2. 目標を定量化する指標

貿易額(億円):

23,134 (H18年度) → 31,600 (H23年度)

製造品出荷額等(億円):

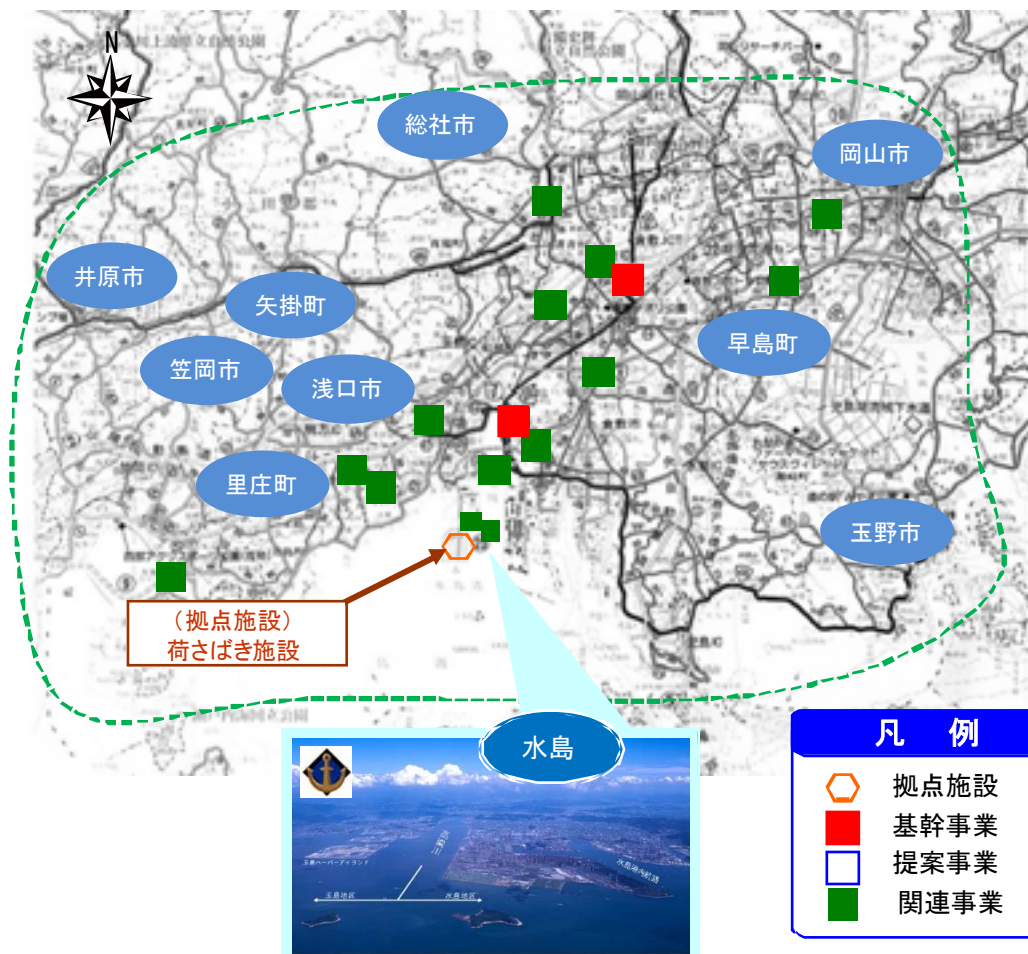
66,837 (H18年度) → 75,000 (H23年度)

企業立地件数(件):

24 (H18年度) → 150 (H19～H23年度の5年間)

#### 3. 主な事業

道路



### 計画のポイント

・近代化産業遺産として認定された「石炭関連遺産群」の交通連結の拠点となる折尾周辺地域において、鉄道連続立体交差事業等の整備を行い、広域的な交流人口の拡大による地域の活性化を図る。



計画期間 平成20年度～平成24年度

### 1. 計画の目標

・我が国の近代化を支えた石炭関連遺産を活用した広域観光を展開し、その交通連結地点であるJR折尾駅周辺地域において鉄道連続立体交差事業等の整備を行い、広域的な交流人口の拡大による地域の活性化を図る。

### 2. 目標を定量化する主な指標

- JR折尾駅乗降客数(人/日)  
34,000(H16年度) → 42,000(H27年度)
- 田川市石炭・歴史博物館入館者数(人)  
17,779(H18年度) → 21,335(H21年度)
- 飯塚市主要観光施設観光入込客数(人)  
913,000(H16年度) → 1,096,000(H22年度)

3. 主な事業 河川、道路

### 4. その他

折尾地区総合整備事業との連携

# 佐賀県広域活性化計画(観光振興)の概要

佐賀県

## 計画のポイント

- ・九州一体となった観光振興の取組の中で、本県が埋没することなく「選ばれる佐賀県」となるため、観光ルートのネットワーク強化や魅力的な観光地づくり等を進め、観光交流人口の増加を目指す。
- ・そのため、観光地等へのアクセス道路や観光拠点施設の整備、観光情報の発信などの取組を強化する。

計画期間 平成20年度～平成24年度

### 1. 計画の目標

観光産業の持続的な発展を図るため観光交流人口の拡大を図る

### 2. 目標を定量化する主な指標

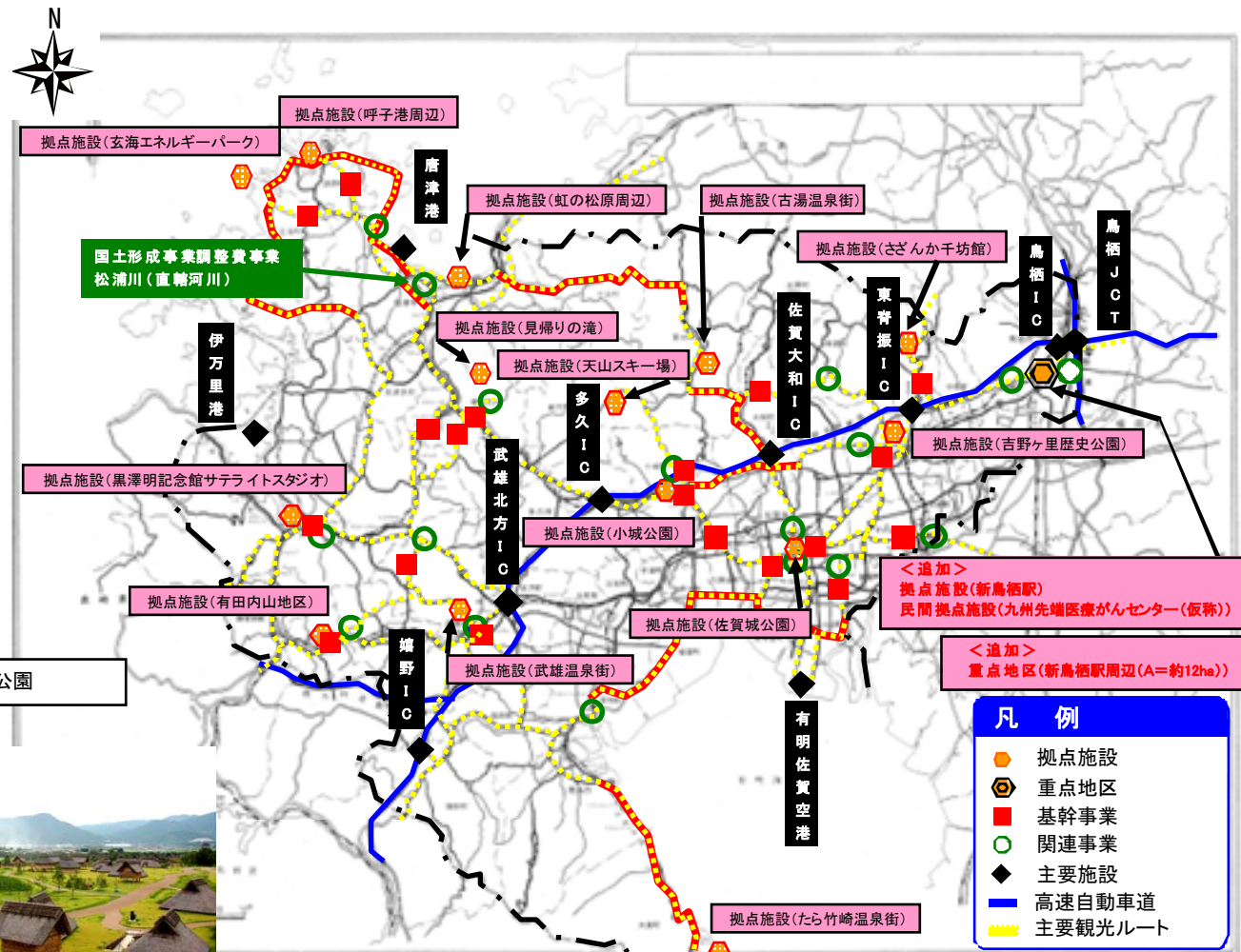
- 宿泊観光客数(万人):  
242(H18年度)→248(H24年度)
- 東アジア地域からの  
宿泊観光客数(万人):  
3(H18年度)→5(H24年度)

### 3. 主な事業

道路、公園、観光PR・誘客活動

### 4. その他

国土形成事業調整費事業  
松浦川(河口部周遊路整備)  
(直轄河川)



佐賀城本丸歴史館  
(佐賀城公園)



吉野ヶ里歴史公園



### 計画のポイント

- ・県北・県央地域において、主に自動車部品や電子部品・デバイス、水産加工品等を製造する工場が集積する工業団地の交通アクセスを改善し、さらなる産業活動の活性化、企業集積の促進につなげる。
- ・そのため、長崎自動車道や西九州自動車道のインターから工業団地までのアクセス道路や、地場企業の輸送路となる工業団地周辺の幹線道路の整備を推進する。

計画期間 平成20年度～平成24年度

#### 1. 計画の目標

自動車関連産業、情報通信関連産業を中心とした企業集積の促進を図り、雇用の創出につなげる。

#### 2. 目標を定量化する主な指標

立地企業数(社)：  
0(H19年度)→60(H24年度)  
雇用創出者数(人)：  
0(H19年度)→3,700(H24年度)

#### 3. 主な事業

道路、港湾

#### 4. その他

企業立地促進法基本計画の経済産業大臣同意(H19.10)





### 計画のポイント

- ・歴史的・文化的遺産、「ながさきサンセットオーシャンロード」の沿道景観、食などの地域資源を活かした魅力ある観光地の活性化を図り、広域観光の活性化を図る。
- ・このため、観光客が安全で快適な移動ができるための道路と港湾施設の整備、歴史的資産を尊重した河川環境整備、観光都市にふさわしい長崎港の整備等を行う。

計画期間 平成20年度～平成24年度

#### 1. 計画の目標

歴史的・文化的遺産、沿道景観、食などの地域資源を活かした魅力ある観光地の活性化を図り、さらなる観光拠点とし、県内外から観光客を呼び込む。

#### 2. 目標を定量化する主な指標

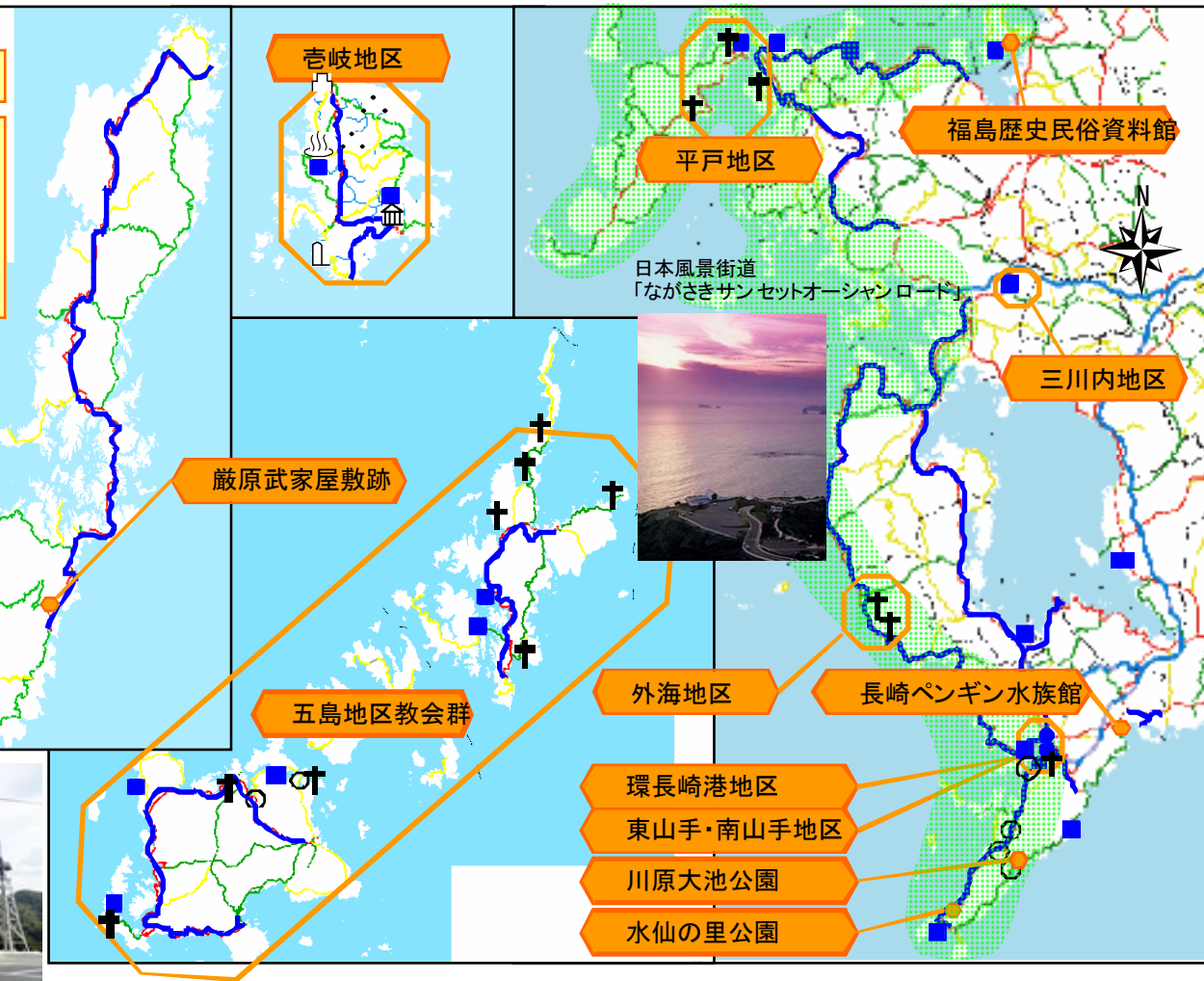
観光客数(暦年)(万人)  
2,324(H18年度) → 2,580(H24年度)

#### 3. 主な事業

河川、道路、港湾等

#### 凡 例

- 拠点施設
- 基幹事業
- 提案事業
- 関連事業
- ✚ 教会
- 城跡
- ⋯ 史跡等
- ☰ 博物館
- ♨ 温泉地
- ⌒ 記念碑



### 計画のポイント

・人口減少・少子高齢化・世界同時不況により活力が低下している地域の活性化を図るべく、県内各地域を結ぶ道路状況を改善することにより、地域間の相互交流の促進を通じた地域の内発的な活性化を図り、地域固有の伝統や文化の維持につなげる。さらに、九州新幹線全線開業により来訪者の増加が予想される中、熊本港や主要な観光地等を結ぶ道路を改善し、観光交流や物流の促進を図る。

### 計画期間 平成20年度～平成24年度

#### 1. 計画の目標

各地域間の連携や交流の促進による地域の活性化、九州新幹線全線開業を契機とした来訪者との交流促進。

#### 2. 目標を定量化する主な指標

- 道路の走りやすさ(☆～☆☆☆☆☆)  
(H18)☆☆☆→(H24)☆☆☆☆
- 宿泊者数(万人)  
(H18)672→(H24)750(暫定)
- 製造品出荷額(兆円)  
(H18)2.8→(H23)4.0(暫定)

#### 3. 主な事業

道路事業、交通アクセス改善、熊本PR事業  
港湾事業

#### 4. その他

#### 凡 例

- 拠点施設
- 基幹事業
- 関連事業
- ◆ 主要施設
- 高速自動車道
- 高速自動車道(事業中)
- 九州新幹線

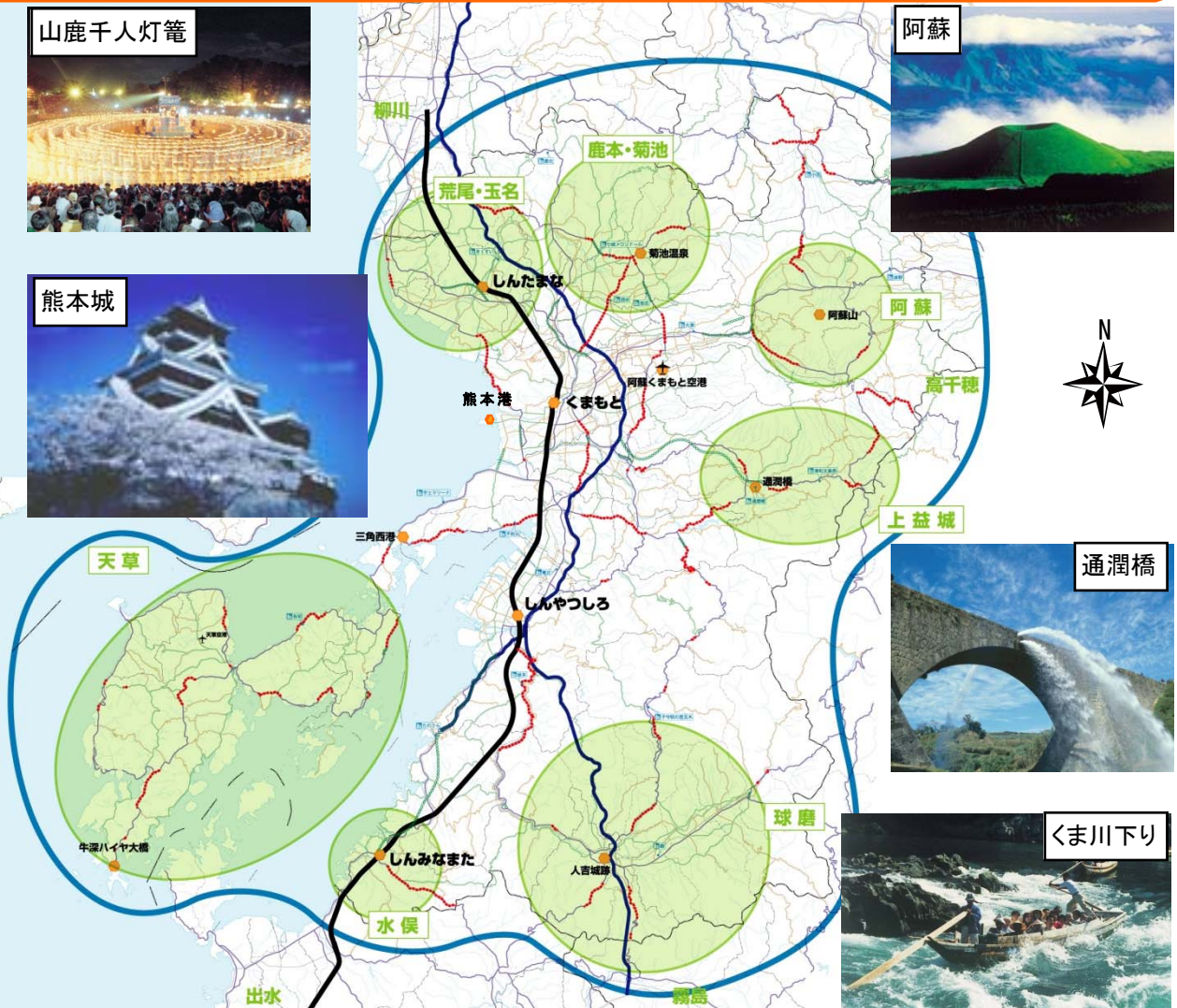
天草とキリシタン文化



山鹿千人灯笼



熊本城



阿蘇



通潤橋



くま川下り



### 計画のポイント

- ・新規観光客及びリピーターが快適に過ごせる受入環境を充実し、観光客の増加を目指す。
- ・そのため、主要観光地へのアクセス道路等の整備促進や宮崎らしい「うるおい」と「やすらぎ」ある道路環境の保全を行う。



高千穂峽



青島



都井岬の岬馬

計画期間 平成20年度～平成22年度

#### 1. 計画の目標

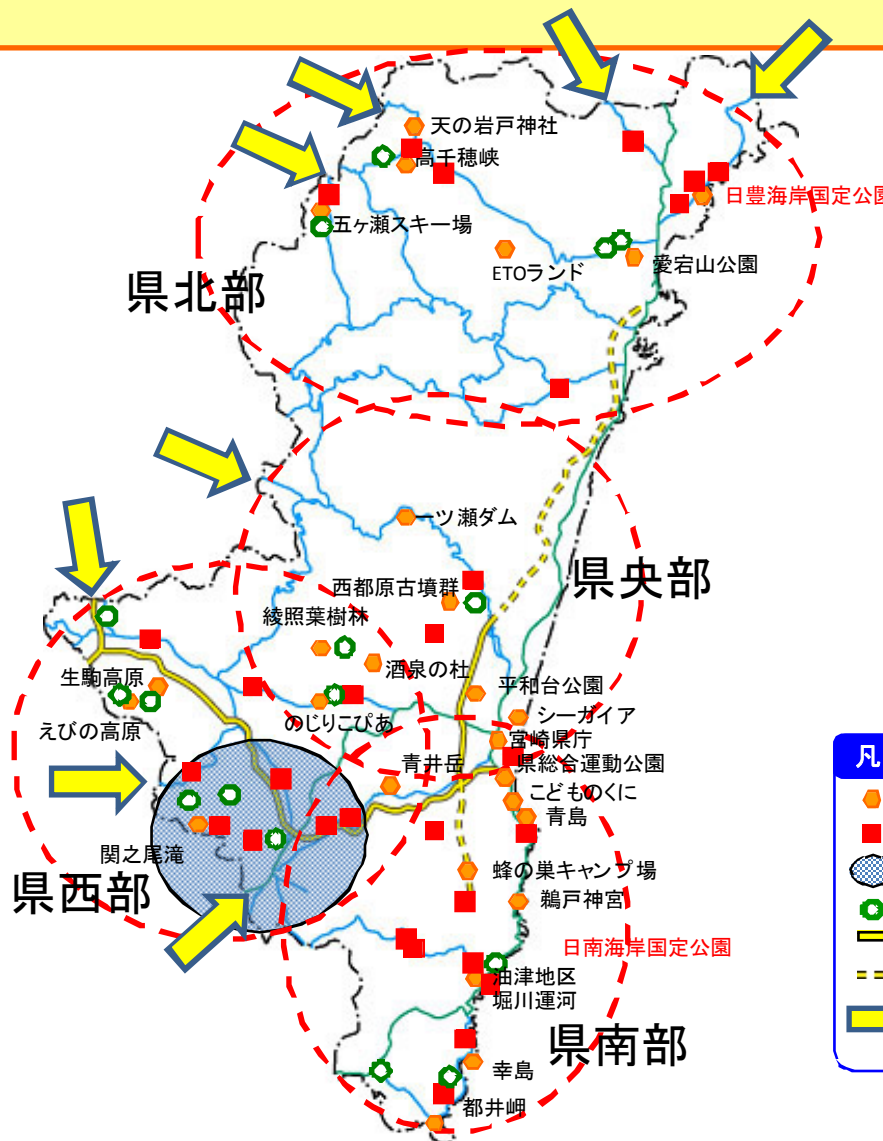
観光地利用者の増加

#### 2. 目標を定量化する主な指標

県外観光客数(万人)  
441(H18年度) → 547(H22年度)

#### 3. 主な事業

- ・道路
- ・港湾



凡 例	
	拠点観光施設
	基幹事業
	基幹事業(道路標識整備)
	関連事業
	高速自動車道
	高速自動車道(事業中)
	県内への主な進入路